

Case-4

さきしまコスモタワーホテル

2019年に1stオープン、2020年5月に全371室の開業、フロア毎に四期にわたってオープンする。その時々には大阪出身アーティストとのコラボレーションを行い新しいお部屋が誕生していく。大阪城をコンセプトにしたホテルフロントロビーでは、黄金の茶室や四季で表情を変える花や映像がお客様を歓迎。ロビーにはホテルから京都や奈良への一日観光の予約が可能な日本初となる無人ツアーデスク（名称“エクスプローラーツアーズ”）を用意。



【会社概要】

※ 2023年3月31日時点

会社名 | 株式会社さきしまコスモタワーホテル
本社所在地 | 大阪府大阪市中央区北久宝寺町4-4-15
事業内容 | ホテル、飲食店、各種商

業施設の経営及び運営受託他
運営施設数 | 1施設
従業員数 | 15人（2019年1月時点）
客室数 | 263室

CO₂ 排出量可視化ツール導入概要

測る



『可視化ツールの導入を考え始めたきっかけ・知った場面』

- ・ サービス提供事業者（東武トップツアーズ株式会社）より、これからの時代の脱炭素の必要性および可視化ツールの提案を受けた。

『可視化ツールの導入の決め手』

- ・ 上記のサービス提供事業者からの導入提案時に聞いた、導入提案時脱炭素の必要性に共感して導入

『導入した可視化ツール』

- ・ DeTS(Decarbonising Tourism System)<https://www.dts2050.com/>（提供事業者：東武トップツアーズ株式会社、株式会社バックキャストテクノロジー総合研究所）

『導入時期・範囲』

- ・ 2021年に導入

『ツール導入・活用において苦労した点・悩んだ点、対応策』

- ・ 電気代は賃料の中に含まれているが、その額は一律であり、電気代を削減しても経費削減には繋がらない。このような背景が、折角可視化したデータを活用して取組を実行していくモチベーションになりにくい所だと分析している。
- ・ 可視化することによって削減できる箇所が見えてくるが、スタッフを多く雇用しているため、彼らの労働を確保することを優先している。例えば、部屋の清掃はコスト削減の観点からもエコ清掃を導入したいが、清掃員の雇用を維持するため、連泊客のお客様で「起こさないでください」の札が出ている部屋は清掃をスキップするに留めている。従業員の雇用を喪失してしまう取組は、実行に踏み切ることが難しい。

効果



『導入効果』

- ・可視化に取り組み始めた段階であり、定量的・定性的な効果は今後実感するものと考えている

ツール活用に関する今後の取り組み

- ✓まだ脱炭素化を意識し始めたばかりの段階であるため、今後はツールで得た情報を活用しながら、具体的な取組に落とし込んでいきたい。

その他の脱炭素関連の取り組み

- ・歯ブラシや櫛はプラスチックを廃止し、在庫切り替えのタイミングで竹のものを導入した。
- ・電球の交換を行うタイミングで、できるところから順次LED化を進めている。
- ・予約用紙をペーパーレス化して電子媒体で管理することにより、日々数百枚単位の紙を削減することができた。



竹製の歯ブラシを導入

『脱炭素化関連情報の収集方法』

- ・近隣ホテルが集うエリア会に参加、同業者と取り組み状況含めた脱炭素関連情報を交換している。